

複合材料部門委員会 第 228 回定例委員会議事録

開催日時: 2011 年 5 月 24 日(火), 9:30~18:00

開催場所: 大阪大学コンベンションセンター 研修室

ビジネスミーティングへの出席者: 合田公一, 北條正樹, 倪慶清, 大窪和也, 島村佳伸, 竹村兼一,
西藪和明, 大村勝, 櫻井昭男, 金孝鎮, 野田淳二(以上, 11 名)

研究討論会への出席者: 上記の 11 名に加えて, 岡部佳史, 高山裕一, 中井善一, 細井厚志, 藤井透,
ほか11名(研究討論会I:計 20 名, 研究討論会 II:計 27 名, 敬称略)

○ビジネスミーティング(9:30~10:40)

資料1: 平成 22 年度事業報告(案)および 23 年度事業計画(案)

資料2: 平成 22 年度決算書案

資料3: 平成 23 年度予算書案

資料4: JCCM-1 収支決算

資料5: JCOM 若手シンポジウム 収支決算書

資料6: 平成 22 年度「GC」ワーキンググループ事業報告書

資料7: 平成 22 年度「量産車用コンポジットの開発」ワーキンググループ事業報告書

資料8: 第4回日中グリーンコンポ交流セミナー開催のご案内

資料9: 新委員の委嘱(回覧のみ)

資料10: 2011 年度 JCOM 若手シンポジウム 会告

資料11: JCCM-2 講演論文(USB メモリ)発行のお知らせ

1. H22 事業報告と H23 事業計画について(合田委員長, 資料 1)

合田委員長より, 平成 22 年度事業報告と平成 23 年度事業計画について説明があり, 承認された。

事業報告: 4回の定例委員会の詳細と, 会議, 国際学術交流, 見学会, WG, 会誌特集号, JCCM-2
中止の経緯, 台湾複合材料学会 馬先生来日の経緯など

事業計画: 定例委員会の一回分を日本複合材料学会関西支部との共催で開催することが北條委員
より提案され, これを了承した。

2. H22 決算書案について(合田委員長, 資料 2)

合田委員長より, 平成 22 年度の収支について報告があり, 承認された。

- ・【一部文章訂正】IWGC-6 共催金→協賛金

3. H23 予算書案について(合田委員長, 資料 3)

合田委員長より, 平成 23 年度の事業計画について報告があり, その内容が承認された。

- ・【一部文章訂正】WG 活動費未記入分を追加
- ・大窪委員より JCCM-3 の黒字分が妥当かどうかの質問があった。

4. JCCM-1 決算書について(合田委員長, 資料 4)

合田委員長より, JCCM-1 決算について説明があり, 承認された。論文集印刷代が高い点が説明され,
JCCM-3 では印刷物を発行しないこととし, これが主な黒字分になることを確認した。

5. 2010 JCOM 若手シンポ決算書について(合田委員長, 資料 5)

合田委員長より, 2010 JCOM 若手シンポ決算について説明があり, 承認された。

6. 平成 22 年度「GC」ワーキンググループ事業報告について(大窪委員, 資料 6)

大窪委員より, 「GC」ワーキンググループの H22 事業報告および H23 事業計画について説明があり,
承認された。

7. 平成 22 年度「量産車用コンポジットの開発」ワーキンググループ事業報告について(合田委員長, 資料 7)

合田委員長より、「量産車用コンポジットの開発」ワーキンググループのH22事業報告およびH23事業計画について説明があり、承認された。

8. 第4回日中グリーンコンポ交流セミナー開催について(竹村委員, 資料 8)
竹村委員より, 第4回日中グリーンコンポ交流セミナー開催について説明があり, 承認された。
9. 新委員の委嘱について(合田委員長, 資料 9 を回覧)
合田委員長より, 本田技術研究所 杉山氏の新委員委嘱について説明があった。本件に関し, 紹介者の有無や, 会員資格について, 幹事会で検討する旨, 要請された。
10. 2011 JCOM 若手シンポ会告について(西藪委員, 資料 10)
西藪委員より, 2011 JCOM 若手シンポジウムの会告, 内容について説明があった。40 歳以上の参加者について, 宿泊地, 参加定員, 宿泊施設などについて質問があった。部門 HP など何らかの方法で案内する。
11. JCCM-2 の USB 論文集の扱いについて(合田委員長, 資料 11)
合田委員長より, JCCM-2 講演論文(USB メモリ)発行のお知らせ(会誌文章案)について説明があった。会誌へのプログラム掲載の可否について北條委員より質問があった。北條委員から事務局に確認する。
12. 功績賞表彰について
藤井透委員(同志社大学)の功績賞の授賞式が行われた。
13. その他
 - ・島村委員より, 部門 HP を管理する上で, 容量制限の理由により, 古いファイルを削除することが提案され承認された。
 - ・北條委員より, 2012 年にイタリアで開催される ECCM-15 の Chair(Prof. Quaresimin)より協賛依頼があり, これを部門委員会で受けるかどうかの発議があった。協賛金の支払いがないことを確認した上で, 協賛を受け入れることを了承した。

○研究討論会 I :「ナノ材料を利用した複合材料技術の新展開」(10:45-11:50)

座長 倪 慶清(信州大)

基調講演「The Preparation, Characteristics and Applications of Graphene Nanocomposites」

講師: National Tsing Hua University, Prof. Chen-Chi M. Ma

○研究討論会 II :「ウッドプラスチック&グリーンコンポジットー世界の研究・開発動向と日本の現状ー」(13:00-17:45)

以下の講演会を行った。活発な質疑応答がなされた。(以下, 敬称略)

・13:00~13:50 各部門委員会の活動紹介

座長 大窪和也(同志社大)

- (1)高分子材料部門委員会からの活動紹介 井上正志(大阪大)
- (2)木質材料部門委員会からの活動紹介 田淵敦士(京都府立大)
- (3)複合材料部門委員会からの活動紹介 合田公一(山口大)

・13:50~16:55 一般講演

座長 合田公一(山口大)

- (1)「竹繊維から抄紙した竹紙の強度向上」 大窪和也(同志社大)
- (2)「ジュート繊維強化複合材料の曲げ特性に及ぼす表面処理と温度環境の影響」 金孝鎮(福岡大)

座長 田淵敦士(京都府立大)

- (3)「ウッドプラスチック(混練型WPC)の技術事例紹介」伊藤弘和(ヤマハリビングテック株)
- (4)「木材・プラスチック複合材のJIS規格の動向」梅村啓志郎(株ミサワホーム総合研究所)
座長 徳満勝久(滋賀県立大)
- (5)「靱殻/PVA複合材料の創製と物性評価研究」菊地憲次(滋賀県立大)
- (6)「バイオマスの液化と高性能・高機能ポリマー系複合材料への応用」吉岡まり子(京都大)

・17:00～17:45 総合討論(パネルディスカッション)

テーマ「ウッドプラスチック&グリーンコンポジットの世界の研究・開発動向と日本の現状を見据えて」
パネラー: 金孝鎮(福岡大), 伊藤弘和(ヤマハリビングテック株), 梅村啓志郎(株ミサワホーム総合研究所), 菊地憲次(滋賀県立大), 吉岡まり子(京都大), 進行役: 大窪和也(同志社大)

○懇親会(19:00～21:00)

千里中央駅近辺のレストランにて 18名参加

以上